

## 林業普及週間現地情報(12/4～12/8)

森林管理課

### コウヨウザンの育苗・育林技術及び

### 菌床しいたけ生産技術に係る先進地視察

12月6(水)～8日(金)

平成29年12月6日～8日にコウヨウザンの育苗・育林技術と菌床しいたけ生産技術の情報収集のため、広島県を訪れた。

本県では、平成25年度～27年度にかけて、「沖縄型資源循環利用システム構築事業」により、集落周辺地域の造成未利用地において、ハマセンダン、ウラジロエノキ、ナンヨウスギ、イイギリの早生樹種を活用した短伐期施業の実証試験を行った。これらの樹種については、引き続きその生育状況を把握して行くが、4樹種以外に新たな早生樹種についても検討する必要がある。そこで、本県でも植栽実績があり、近年、本土においても注目しつつあるコウヨウザンについて視察研修を実施した。

広島県では古くからコウヨウザンが植栽されており、近年では積極的に各種調査研究も取り組んでおり、さらに平成28年度から造林補助金対象樹種として指定するなど、コウヨウザンの育苗・育林技術の先進県である。

今回の視察では、(一財)広島県森林整備・農業振興財団管理のコウヨウザン育苗センターと広島県立総合技術研究所林業技術センターにおいて種子の入手先、種子の水選方法、播種・育苗方法等の育苗技術や樹種特性等の情報を得るとともに、造林地において生育適地や生育状況等の現地視察を行った。

菌床しいたけについては、情報収集のため同県の大崎上島町の生産者へ訪問し、製品(生しいたけ)の品質管理(鮮度、規格等)方法や経営方法等の情報を得ることができた。

今後は、今回の視察研修の成果を活かして、本県における林業・林産業の発展に寄与するよう普及指導活動に尽力していきたい。



菌床しいたけ生産施設



コウヨウザン育苗センター



林業技術センター



コウヨウザン造林地

(報告者：北部農林水産振興センター 宇地原・大城・比嘉)